

## 自立をふまえて（どの子ども共に生き，共に育つ）

～ 一人ひとりの実態をふまえた支援のあり方 ～

### I 主題設定の理由

近年，全国的にインクルーシブ教育が周知され基礎的環境整備・合理的配慮が進んでいる中，東山梨地区の特別支援学級数は増えてきており，知的・情緒・肢体不自由・難聴・弱視と多様な障害にわたり，児童の実態も様々である。また，通常級においても数パーセント在籍するといわれる支援を必要とする児童への対応も急務とされ，一つひとつの学級が抱える悩みは深くかつ多様化しているのが現状である。そして，在籍・通級及び特別に支援を必要としている子どもたち一人ひとりの障害の状況や発達段階，その特性に合わせた支援は，どの学級においても共通した重要な研究課題である。

春季教育研究集会においても「どの子ども共に生き，共に育つ」の研究テーマのもと，今年度の方向性として自立生活の実現への取組，地域で主体的に生きていくための取組，特別支援教育のあり方を考えながらインクルーシブ教育の実現をめざした取組などを実践していくことが確認された。

そこで本年度も，授業実践・学習会・情報交換などを通して，児童生徒の理解と支援方法などを模索し，児童生徒一人ひとりの実態に合わせた支援内容，支援の方法に迫るべく本主題を設定した。

### II 研究の内容と方法

#### 1 研究の具体的な内容と方法

- (1) 全体会や小部会ごとに講師を招いて学習会を行い，理解を深める。
- (2) 小部会ごとにテーマを絞って児童生徒の実態を考えた教材研究を行い，個に応じた授業づくりをする。統一授業研に向け，部会員一人ひとりが研究授業をするという意識をもち略案等を持ち寄ることにより，部会全体で授業者を支え児童にとっての有効な支援・授業構成をより深く追求していく。
- (3) 小部会の編成を変え，情報交換や授業研を見据えた実践発表を行い，一人ひとりの児童の実態をふまえた効果的な支援のあり方を探る。

#### 2 学習会の実施

・ 7月31日 〈全体会〉

土肥 満 先生 (甲府市立 池田小学校校長)

岡田 みどり 先生 (甲府市立 池田小学校特別支援担当)

「実践に役立つ支援法・教材」～特別支援学級におけるICTの活用～

・ 8月30日 〈全体会〉

雨宮 清貴 先生 (創造工房 くわの家 施設長)

「放課後の子どもたち」～福祉から見る現状と課題～

### 3 授業研究

#### (1) 障害理解・合理的配慮部会 授業研究

自立活動「つくし すごろくゲームをしよう」

授業者 : 奥野田小学校 植原 恵子教諭

指導・助言者 : 山梨県教育委員会 高校改革・特別支援教育課

主幹・指導主事 近藤 晴樹先生

#### (2) 指導法研究部会 授業研究

自立活動「買い物に行こう」～二分の一 成人パーティに向けて～

授業者 : 八幡小学校 赤荻 美弥教諭

指導・助言者 : 笛川小教頭 岡 輝彦先生

## Ⅲ 成果と課題

### 1 成果

- (1) 学習会では、同じ公立学校の先生方を講師に招聘し、実際に即した支援のあり方・工夫を学ぶことができた。また、ICT機器の種類や活用法など、子ども達一人ひとりに適した支援の手立てについても学ぶことができた。放課後等デイサービス所の施設長を講師に招き、学校外の子ども達にとって求められていること、現状・連携のあり方などを教えて頂き、一人の子どもの一日に目を向ける機会となった。

小部会研究では、今年度、子ども達の実態に即した研究ができるようにと部

- (2) 会の分け方を変更し「障害理解・合理的配慮」と「指導法研究」の2部会とした。このため、より子ども達の実態に即した研究を進めることができた。

統一授業研の研究授業では、部員全員が自分が授業をすると意識して実践報

- (3) 告や資料・略案提案し、「一人ひとりの実態をふまえた支援のあり方」というテーマにせまる研究につながった。指導案検討の段階から助言者に指導を受けたり、みんなで教材作りに取り組んだことも有効であった。2本とも「自立活動」の授業であったが、個々の実態把握、目標立て、場の設定の大切さを全員が考える絶好の機会となった。また、ネガティブな言葉は使わない等の教師の言葉かけや子どもが自然と課題に取り組む教材作りなど改めて学ぶ場となった。

### 2 課題

- (1) 研究授業において、一人学級での授業の難しさや授業ができなかった場合の対応については、事前に考えておくことが必要である。
- (2) 人数的に2小部会で運営し、それぞれの研究は深めることができたが、全体会への還元の場が時間的にとることができなかった。研究の深まりと広まりを決められた回数の中でどう会員相互に進めるかが当部会の課題といえる。

(部長 平塚 すみり)